

岩手県感染症週報

平成26年第34週(8月18日～8月24日)

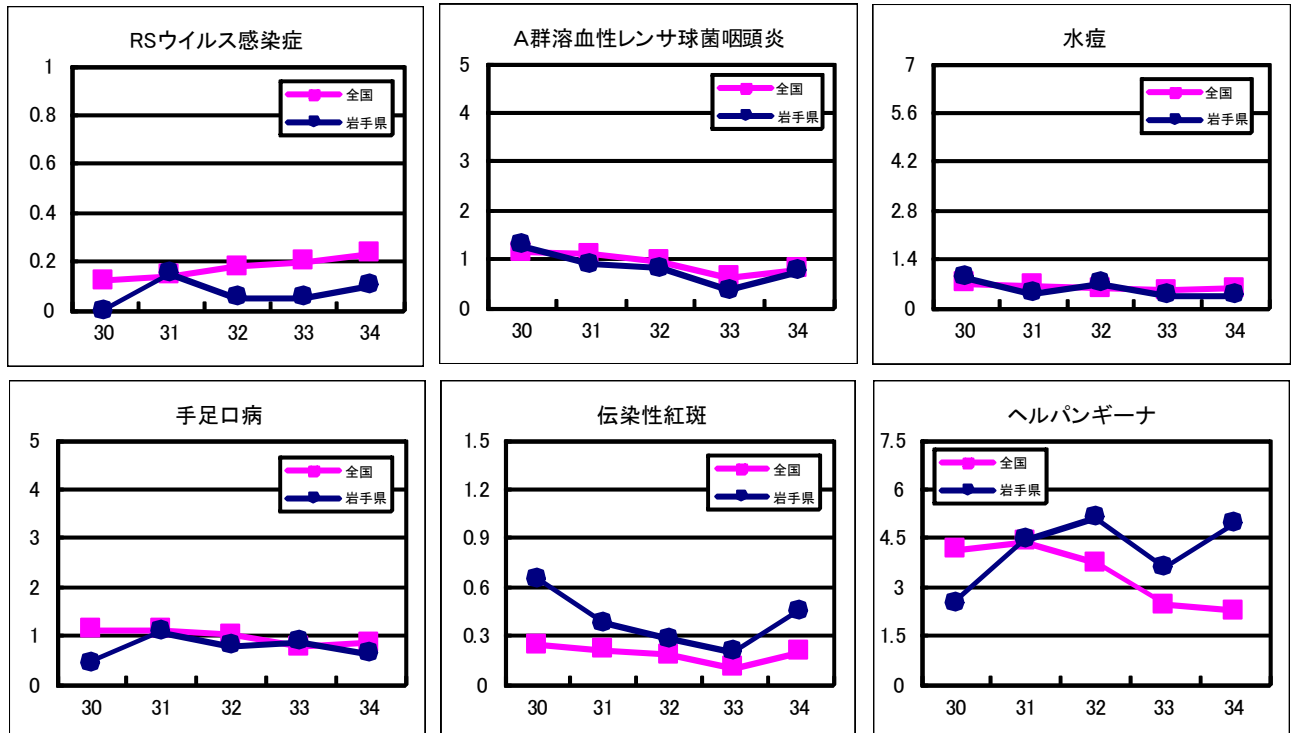
岩手県感染症情報センター

第34週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が8例ありました。このうち潜在性結核感染症は4例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症（O157など）は、8例の報告があり、今年これまでの報告数は82例となりました。年齢層別では4歳以下が32例、5～9歳が16例の順に多くなっています。例年9月に入っても報告があるので、食肉の十分な加熱などによる食中毒の予防と、手洗いなどによる二次感染の予防に努めましょう。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（全数把握対象疾患）
 - ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症（定点把握対象疾患）
 - ・ヘルパンギーナは、過去5年間のこの時期に比較して多くなっています。県央および中部地区で警報値（定点あたり患者数6人）を超えたほか大船渡地区でも多くなっています。いわゆる夏かぜと呼ばれ、乳幼児を中心に夏に流行する、発熱と軟口蓋・扁桃に発赤や小潰瘍を形成するウイルス性疾患です。飛沫や便にもウイルスが排出されるので、石けんと流水による十分な手洗いの励行が重要です。
 - ・伝染性紅斑（リンゴ病）は、中部地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超えました。患者の年齢は5歳児が多くなっています。
 - ・RSウイルス感染症は、今のところ県内での報告数は少ないですが、全国では増加しており、今後の県内での発生の動向に注意が必要です。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		30	31	32	33	34		
インフルエンザ	岩手県	0.03	0.03	0.02	0.05	0.02	→	
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02		
RSウイルス感染症	岩手県	0	0.15	0.05	0.05	0.1	→	☆
	全国	0.12	0.14	0.18	0.2	0.23		
咽頭結膜熱	岩手県	0.18	0.3	0.35	0.08	0.1	→	☆
	全国	0.59	0.6	0.55	0.4	0.46		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.28	0.9	0.8	0.35	0.75	→	☆
	全国	1.14	1.09	0.95	0.62	0.78		
感染性胃腸炎	岩手県	3.18	2.98	3.43	2.13	3.75	→	☆
	全国	3.21	3.41	3.26	2.43	3.22		
水痘	岩手県	0.88	0.43	0.7	0.35	0.35	→	☆
	全国	0.69	0.64	0.57	0.49	0.56		
手足口病	岩手県	0.45	1.08	0.78	0.88	0.63	→	☆
	全国	1.11	1.12	1.01	0.77	0.86		
伝染性紅斑	岩手県	0.65	0.38	0.28	0.2	0.45	→	☆☆
	全国	0.24	0.21	0.18	0.1	0.2		
突発性発疹	岩手県	0.53	0.6	0.73	0.45	0.5	→	☆
	全国	0.58	0.62	0.63	0.46	0.63		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	2.5	4.45	5.13	3.58	4.93	↗	☆☆
	全国	4.12	4.39	3.72	2.43	2.25		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.25	0.1	0.2	0.15	0.2	→	☆
	全国	0.34	0.34	0.33	0.27	0.33		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.14	0.29	0.14	0.36	0.14	→	☆
	全国	0.61	0.69	0.77	0.48	0.89		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.03	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.05	0.04	0.04	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.32	0.37	0.42	0.37	0.58	→	☆
	全国	0.21	0.24	0.24	0.25	0.22		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	1	1	0	1	1		
	全国	8	4	1	5	9		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		30	31	32	33	34	累計	34	累計
一 類 感 染 症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二 類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	3 (0)	5 (2)	6 (4)	4 (1)	8 (4)	190 (77)	420	16545
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三 類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	3	66
	腸管出血性大腸菌感染症	9	20	6	9	8	82	168	2771
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	24
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	12
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	0	0	0	0	3	2	99
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	2	389
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	13
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	7
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	2	44
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	つつが虫病	0	0	0	0	0	3	1	111
	デング熱	0	0	0	0	0	0	5	103
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	4	105
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	9
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	35
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	7
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	4	26	748
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	11	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※中東呼吸器症候群 (MERS) が2014年第31週より指定感染症として報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 30	31	32	33	34	累計 34	累計	
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	10	8	719
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	1	162
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	4	309
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	1	0	81
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	3	4	111
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	5	177
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	12	965
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	40
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	129
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	6	4	1220
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	8
	梅毒	0	0	0	0	0	2	26	1042
	破傷風	0	0	0	0	0	4	0	85
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	33
	風しん	0	0	0	0	0	1	2	265
	麻しん	0	0	0	0	0	0	6	438
指定	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした、乳幼児を中心に夏に流行する急性ウイルス性感染症です。いわゆる夏かぜの代表的疾患です。今シーズンの岩手県での発生状況ですが、第27週から第32週まで増加し、第33週は減少しましたが、第34週には増加し、過去5年間で1番目に多い報告数となりました (表1)。

病因となるウイルスは主にコクサッキーウイルスA群 (CA) 2、3、4、5、6、10型です。今シーズンの患者からの検出状況は、全国ではCA4が多く検出されており、岩手県ではCA4が検出されています。

ヘルパンギーナ 岩手県 2009-2014.34週

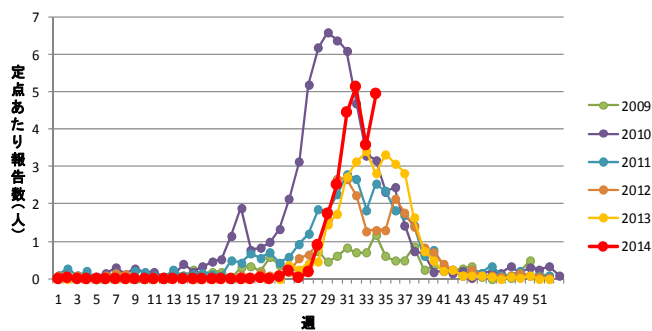
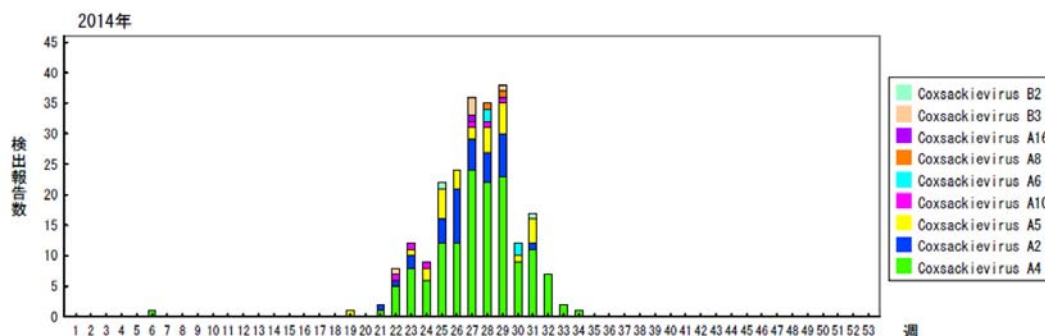


表1 ヘルパンギーナ週別報告数 岩手県 2009-2014

*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



週別 ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離・検出報告数 (全国)

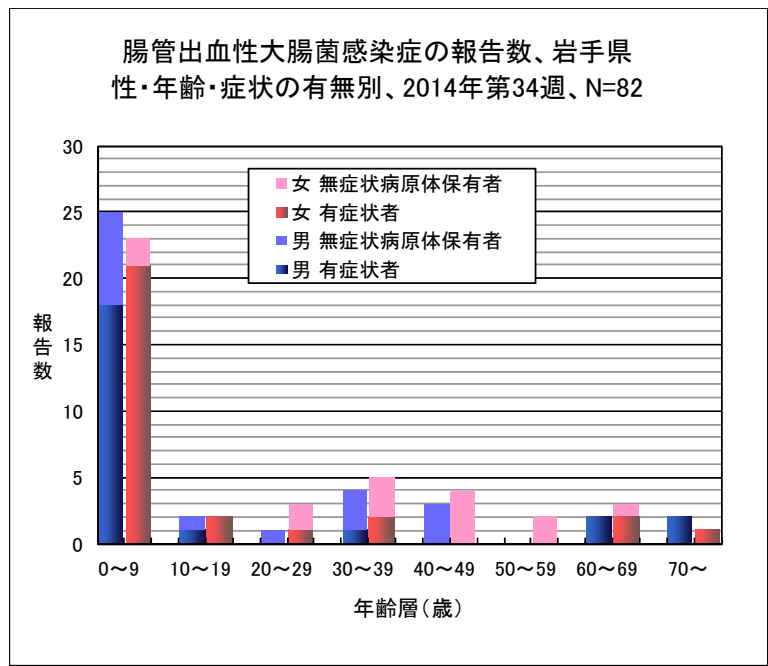
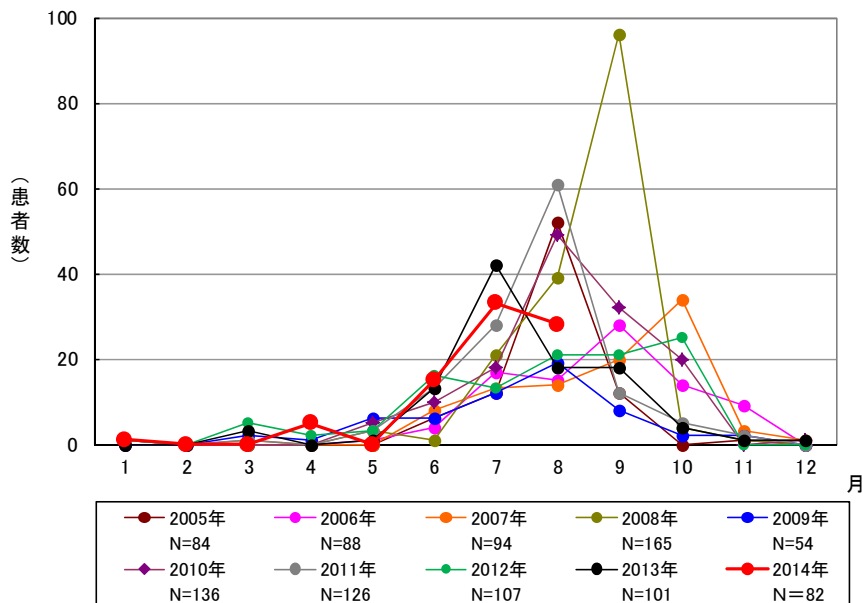
今注目の感染症 (つづき)

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第34週までに82例の患者さんが報告されています。原因となった大腸菌は、O157が14例、O26が55例、O103が8例、O145が3例、その他が3例となっています。年齢層別では、0～9歳が48名、30～39歳が9名、40～49歳が7名の順に多くなっています。

予防には、食中毒予防の基本を守り、生レバーや加熱不十分な食肉等を食べないことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するため、排便後・食事前の石けんと流水を用いた手洗いの励行も重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数
(岩手県2005年～2014年)



病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。

集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

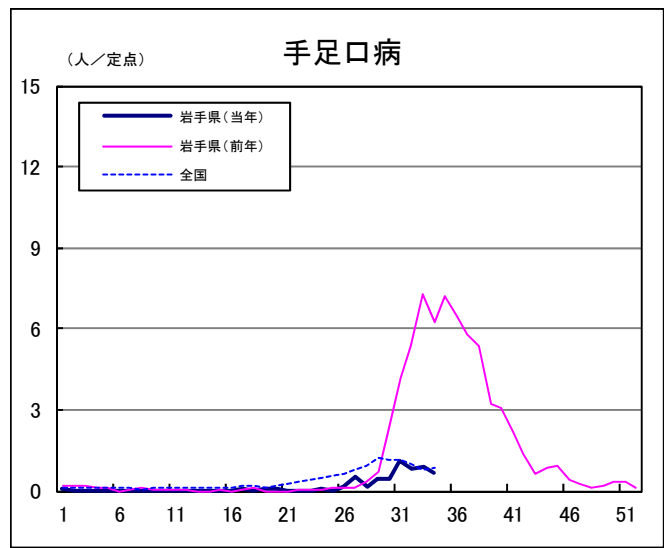
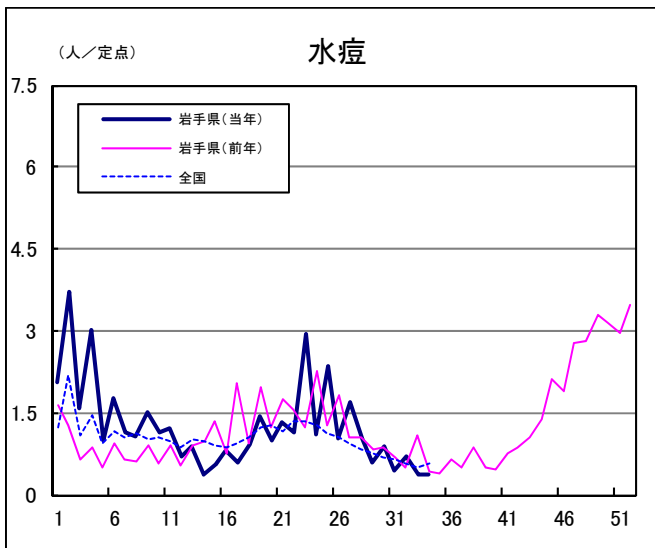
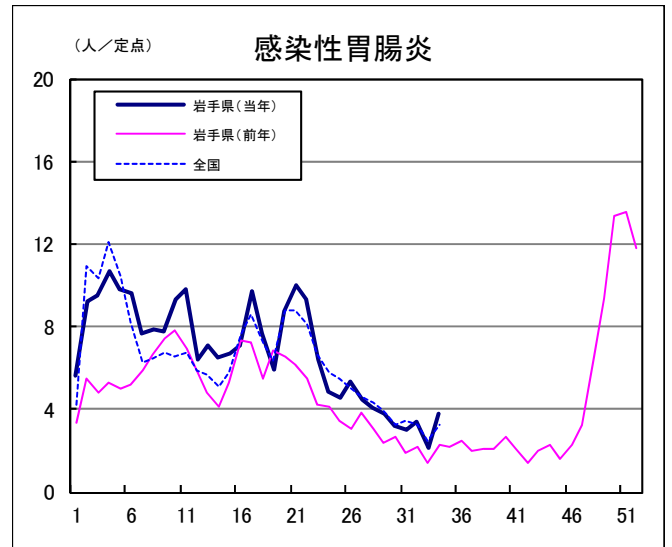
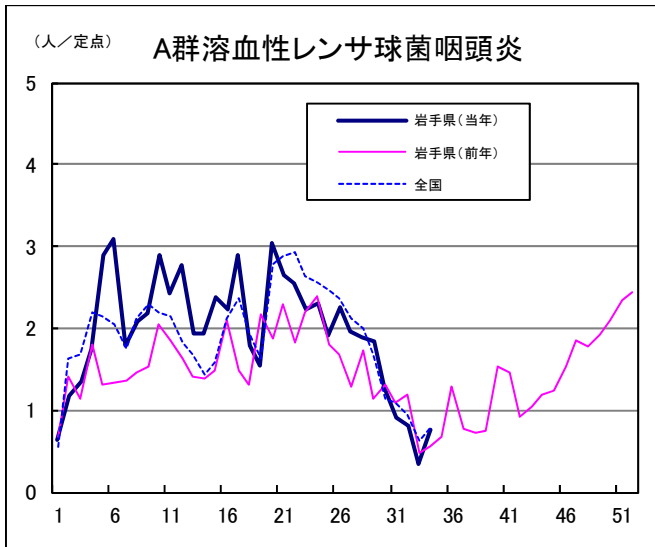
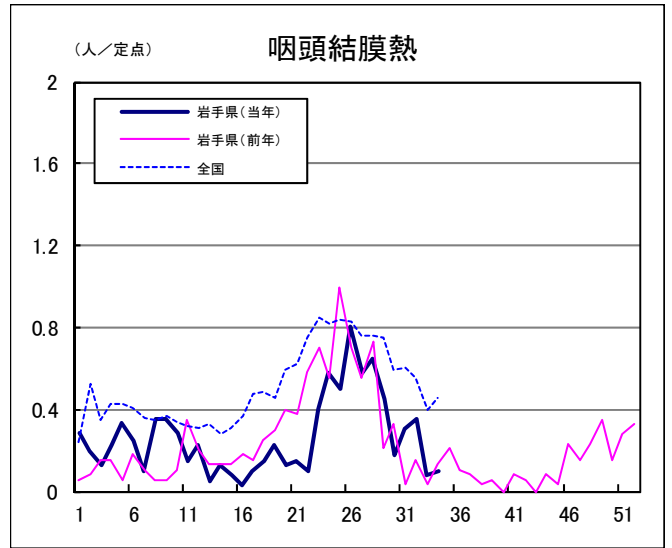
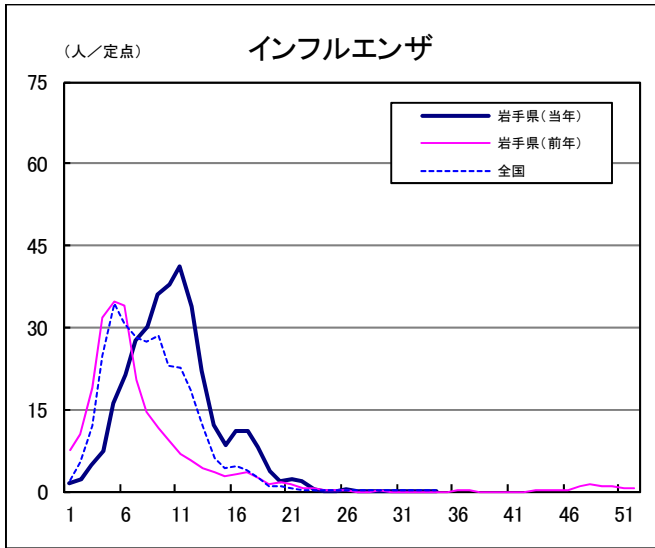
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

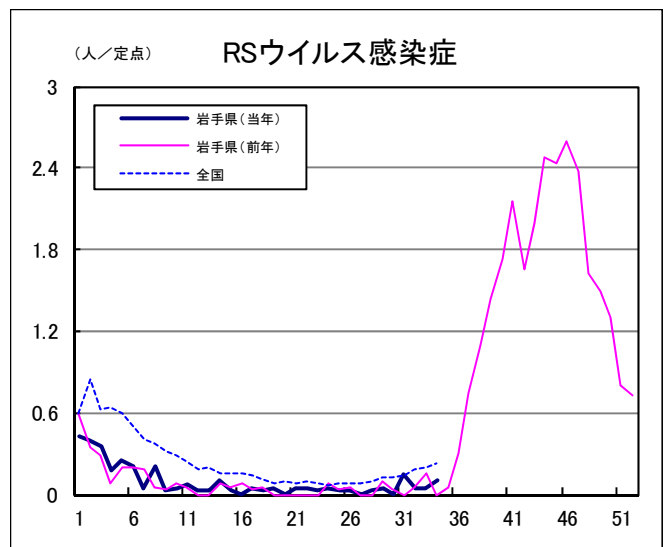
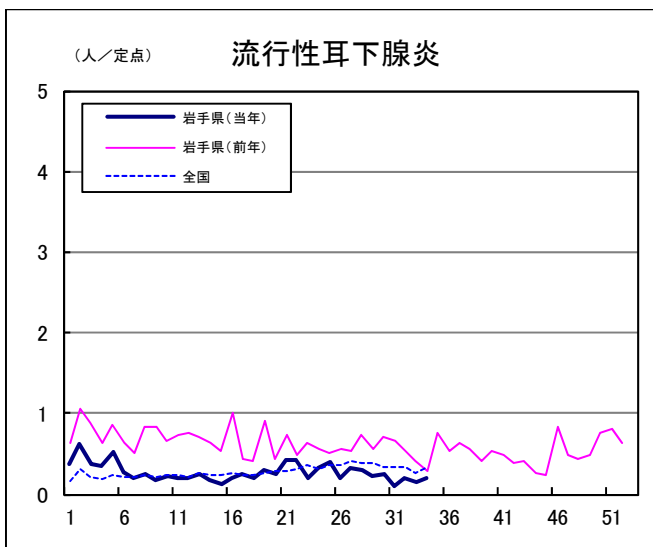
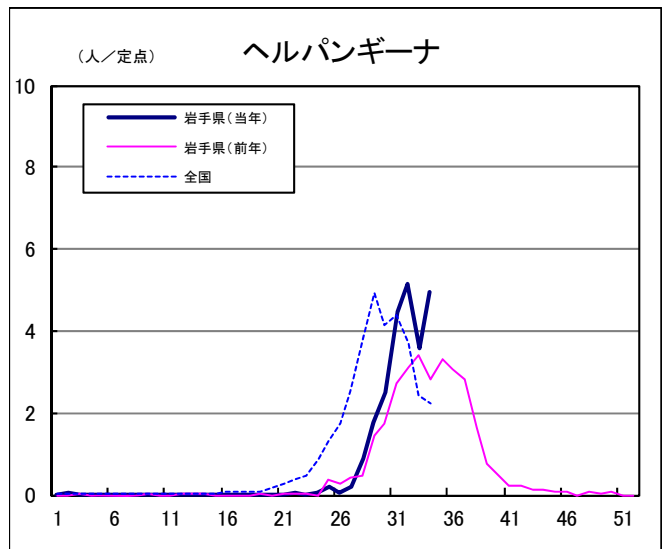
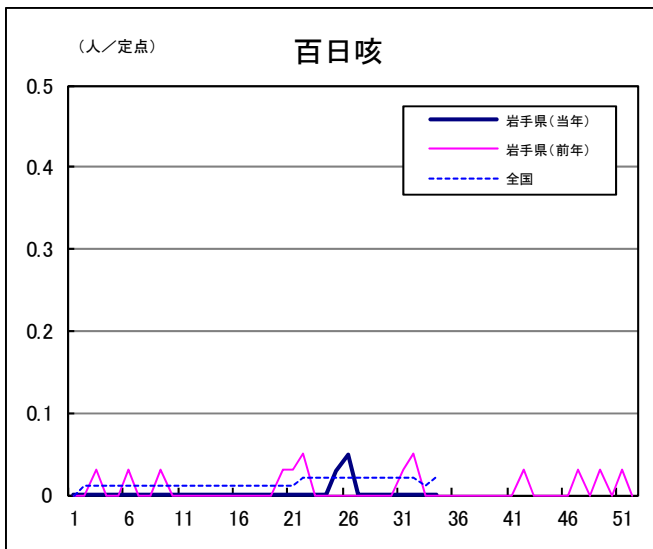
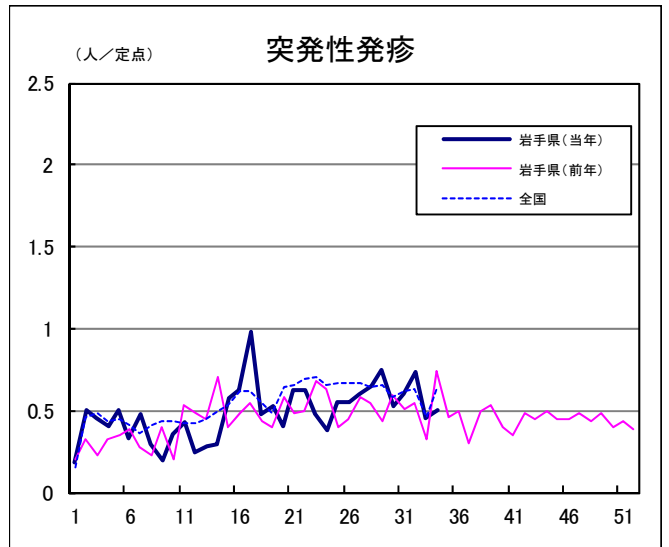
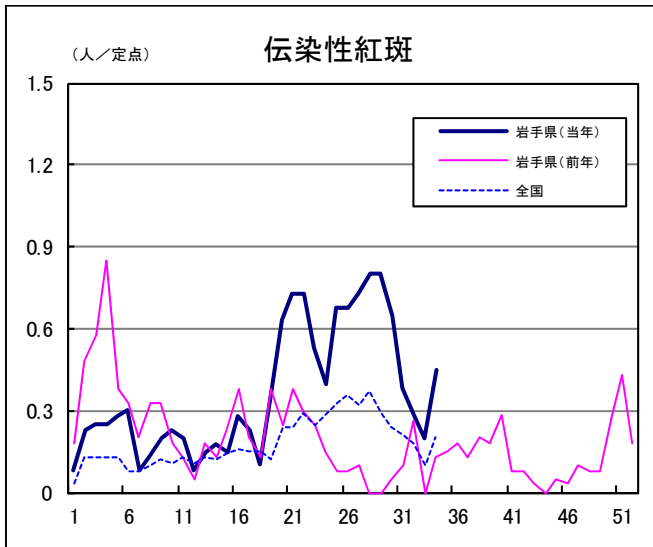
Q & A

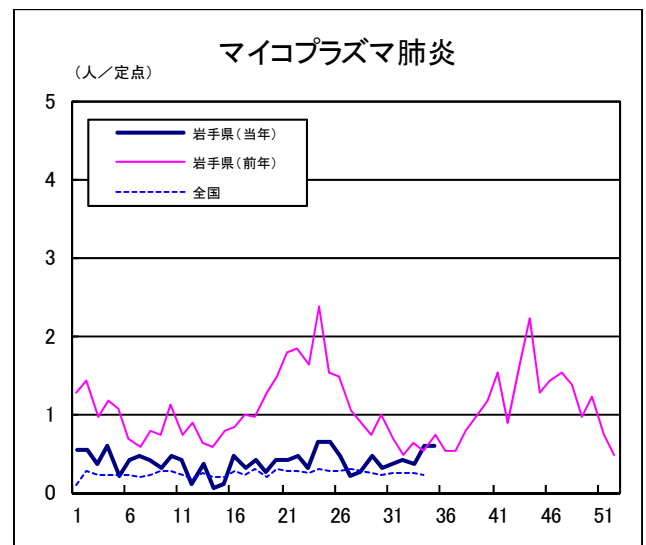
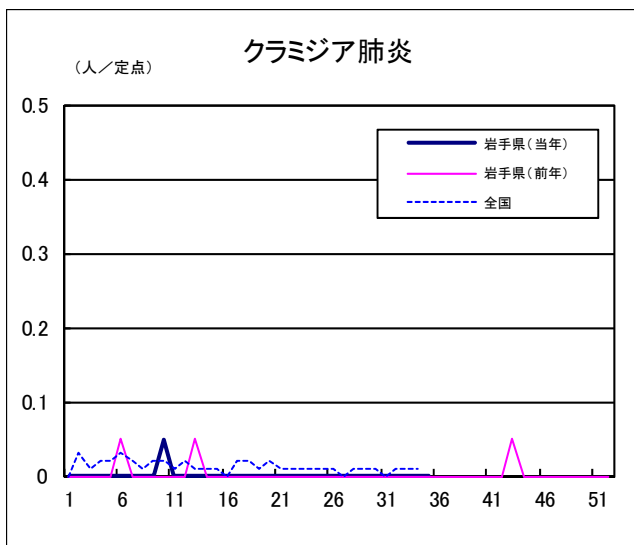
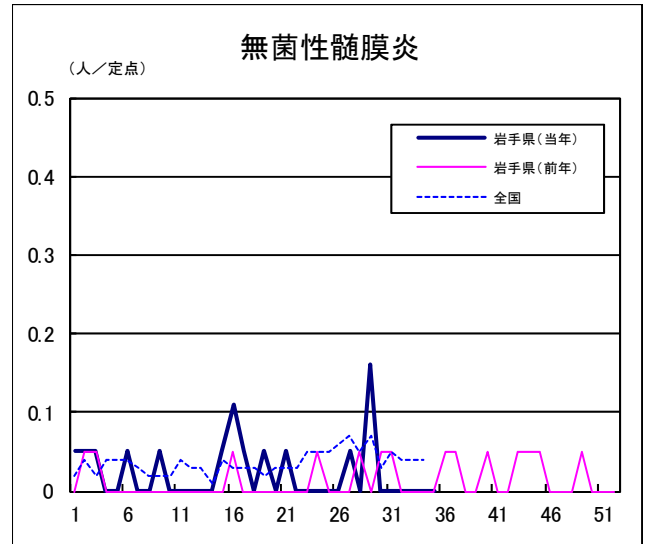
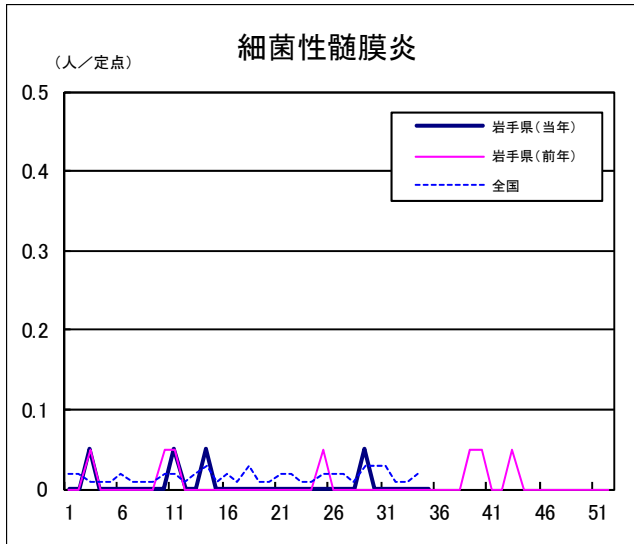
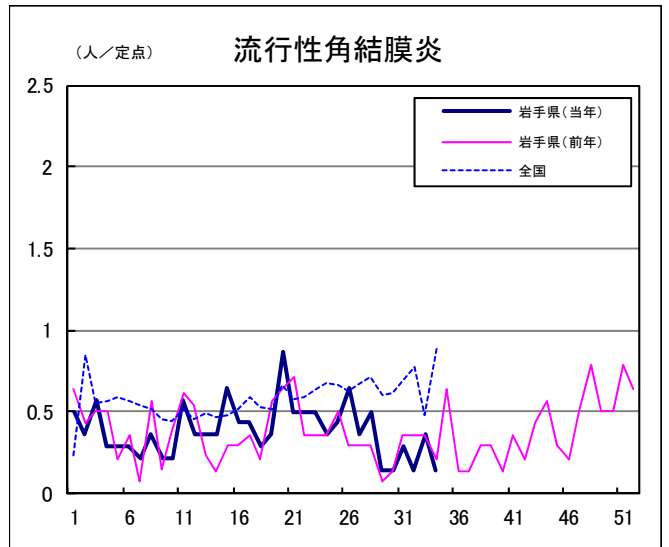
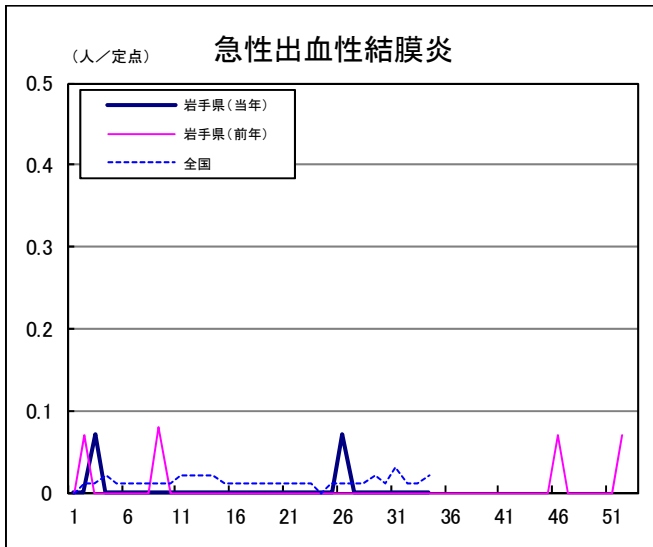
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref. iwate. jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)

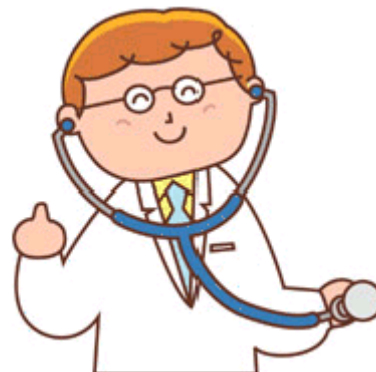






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第34週 平成26年8月29日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>